

## 平成26年度第1回花巻市地域包括支援センター運営協議会議事録

- 1 開催日時 平成26年8月28日(木) 午後2時38分～午後3時45分
- 2 開催場所 花巻市南万丁目970番地5  
花巻保健センター 2階 集団指導室
- 3 会議日程 別紙次第のとおり

### 4 協議事項

- (1) 平成25年度地域包括支援センターの事業実績について
- (2) 平成26年度地域包括支援センターの事業計画について
- (3) 地域ケア会議設置に係る進捗状況について

### 5 会議に出席した委員は、次のとおりである。

委員	後藤啓之
委員	藤巻英二
委員	小早川隆文
委員	熊谷雅順
委員	那須秀逸
委員	高橋修
委員	平澤智子
委員	狩野隆史
委員	橋本純子
委員	鎌田政子
委員	伊藤成子
委員	朝倉千里
委員	藤本莞爾
委員	高橋照幸
委員	影山一男

### 6 会議を欠席した委員は、次のとおりである。

欠席者なし

### 7 会議に出席した職員は、次のとおりである。

健康福祉部長	佐々木 忍
健康福祉部長寿福祉課長	玉 山 進
健康福祉部健康づくり課長	伊 藤 徳 明

健康福祉部長寿福祉課長補佐	菊池司
健康福祉部長寿福祉課介護保険係長	松田隆
健康福祉部長寿福祉課高齢福祉係長	坊澤尚行
健康福祉部長寿福祉課主査	似内泉
健康福祉部長寿福祉課上席主任	高橋朱里
花巻中央地域包括支援センター所長	大原範子

## 8 会議内容は、次のとおりである。

開会に先立ち、佐々木部長より新任の後藤啓之委員と鎌田政子委員、平澤智子委員に辞令が交付された。

### 開 会

菊池課長補佐 委員15名全員出席のため、会議は成立している。

### あいさつ

佐々木部長 平成24年度から、包括の委託は社協へ一元化した。今年度からは中央包括が市役所内で業務を行い、相談がワンストップできると市民からも好評である。第6期以降は、地域包括ケアの確立や機能の強化など、取り組むべき事項が多い。また、第3次地方分権一括法では、包括の運営基準などを定める必要があるため、次回から審議いただくことになる。忌憚のないご意見をいただきたい。

### 会長あいさつ

影山会長 第6期を今後展開していくうえで、中核となるのが包括。さまざまな意見をいただきたい。

議 長 花巻市地域包括支援センター運営協議会設置要綱第4条第2項に基づき、会長が議長となる。

### 協 議

(1) 平成25年度地域包括支援センターの事業実績について（玉山課長が説明）

### 質疑応答

高橋（照）委員 資料にはないが、平成25年度の報告に関連した内容について。全国の包括支援センターで介護者の囲い込み問題が起きているようだ。チェックする必要があると思うが、花巻ではどのようなになっているのか。

大原所長 8月の岩手日報で報道された包括支援センターの囲い込み問題を受けて、現状について調査した結果、運営方針のとおり、公正・中立な運営を行っていた。特定の事業所に偏ったことはしていない。家族の希望に沿って、サービス事業所を選定している。旧花

巻市において、居宅介護支援事業所は2カ所あるが、包括は情報提供をするだけで、事業所を決めるのは家族。地域によっては、身近なところに事業所が少ないため、偏りができる場合もあるが、偏った形のサービス提供はしていないことを確認した。受託している社協のサービス事業所を優先することはない。中立・公正にサービス提供を行っている。新聞報道にあった状況にはないことをこの場で言いたい。

狩野委員 委託先の常務理事から、このような質問が出るとは思わなかった。社協へ委託の一元化をするために、平成23年度に委託先の4つの法人と当時の長寿福祉課長の内館さんとで話し合いが行われた際、社協が包括の委託を受ける場合は、介護保険サービス事業を段階的に撤退する必要があるという意見があった。ケアサービスについては、中央包括において宮野目・矢沢のデイサービスに囲い込みが見受けられる。（サービス事業の段階的な撤退について）何か対策を考えていると思うので、のちほど社協から教えてほしい。

## 協 議

(2) 平成26年度地域包括支援センターの事業計画について（玉山課長が説明）

## 質疑応答

小早川委員 小中学生を対象とした認知症サポート養成講座とはどのようなものか。以前、社協で同様の講座を実施したとき、子どもたちの楽しむ反応がよかった。どんどんやってほしい。

坊澤係長 この講座は「孫世代のための認知症講座」というもので、県が講師を派遣し、市が実施している。今年度、市内に案内を出し、手を挙げたのは2カ所で、東和中学校は実施済み、石鳥谷小学校は11月に実施予定。私は参加していないが行った者の話によると、受講を通じて、自分のおじいちゃん・おばあちゃんの物忘れについて理解したり、地域の高齢者に対し、やさしい心を持って接したりするようになれるなどの効果があったのではないかと聞いている。

小早川委員 トップの方がこの講座を受けて、感想を持った方がよかったと感じている。

平澤委員 2ページの緊急時の電話対応について。実際どのような連絡が来るのか。少ない人数でどのような対応をしているのか。

大原所長 夜間・緊急時の対応について。以前は、宿泊施設を持った法人が委託を受けていたが、平成24年度からは、専用の携帯電話を輪番で持って、対応している。緊急を要するものは少ない。夜間に来てほしいということもあるが、ケースによって対応している。土・日・祝日も同じ。年末年始だけは転送電話に切り替えている。

狩野委員 留守番電話となると、電話を切られるのではないか。着信履歴は残るのか。

大原所長 残る。

狩野委員 包括は24時間対応が基本。がんばってもらいたい。

後藤委員 4ページの各地域包括支援センターの重要取り組み事項について。5つのセンターが浮かび上がった課題に取り組むということはよいことだ。地域包括ケアシステムは平成18年度あたりから言われてきたが、第6期からは本格的に取り組んでいかなければいけない。昔のしがらみもあると思うが、地域の特色を生かしたセンターの取り組みが必要。

包括ケア会議についても県全体で進んでおらず、難しい。次の計画で、センターごとの特徴を盛り込めるか。どのようなものになりそうか。

坊澤係長 センターごとに、このような取り組み事項を盛り込んだのは、今回が初めて。これまででは一緒だった。圏域ごとに高齢者の課題や地域の課題は違う。自由に、自分たちの圏域で何をすればよいか、何がほかの地域と異なるのか、包括からの聞き取りやニーズ調査を基に、圏域ごとに計画を立てないといけないと思っているが、まだ途中である。

後藤委員 ニーズ調査から見えてくることがあるのか。

坊澤係長 ある。

後藤委員 まだ、読んでいないので、見てみます。

影山会長 ぜひ、お目通しください。認知症サポーター養成講座について。市内の自治会など、対象を増やしてほしい。

坊澤係長 有志の団体なども対象であるが、待つだけではなく、講座参加への声掛けもしていきたい。

## 協 議

(3) 地域ケア会議設置に係る進捗状況について（玉山課長が説明）

## 質疑応答

後藤委員 9月～3月までの取り組みについて。地域ケア会議に類似した会議とは何か。

坊澤係長 石鳥谷地域と東和地域において、構成メンバーが消防や警察など、他職種によるネットワーク会議というものがある。地域ケア会議と言ってもよいと思うが、他地域の会議を見学するということだ。

後藤委員 どこかを視察するのではなく、市内の話ですか。

坊澤係長 市外にも研修に行っており、昨日は宮古市の包括を訪問して来た。

影山会長 1つだけ、初歩的な質問。地域ケア会議の構成メンバーで、主導的な主体はどこか。

坊澤係長 (包括毎の地域ケア会議を) リードするのは、包括支援センターが担うことになっている。

影山会長 ほかに意見はないか。第6期中核的な役割は包括が担う。今後原案が出来るとき、包括が主体となる地域ケア会議についても議論いただく。本日はこれで終了する。

## 9 閉 会 午後3時45分

菊池課長補佐 この協議会は、例年、年2回の開催であるが、計画策定に合わせ、いろいろな協議をしていただくため、今年度は開催回数が増える場合があるのでよろしくお願いしたい。